

一ねんせいはいたいへんです

山^{やま} 田^だ 永^え 菜^な

しょうがいしゃのひとは、きつとふべんです。めがみえないひとがつえをついでいて、そこになにかものがあつたらとおれません。くるまいすのひとのおるみちに、くるまいすがとおれるひろさがなかつたらとおれません。だれかがきづいて、ものをよけてくれたりしてくれたりとおれます。

わたしは、みんなとふつうにおはなしかできます。きょうかしよもよめます、プリントもかけます。かけつこともできます。わたしはみんなにはしょうがいしゃにはみえません。

わたしは、しょうがいがあります。はったつしょうがいです。みんなとおなじことをするのがむずかしいことがたくさんあります。

かんかくかびんがあります。おおきなおとがにがてです。はなびや、たいこのおとや、こうじげんばのおとは、しんぞうがドキドキするくらいこわいので、ヘッドホンをします。

においがにがてです。レストランのいいにおいはぜんぶまぎってしまつて、きもちわるくなつてしまつて、はいてしまいます。かぞくでがいしよくをしたことはほとんどありません。おねえちゃんたちや、おとうとに、ごめんねといつもおもいます。えんそくのときのおべんとうや、おねえちゃんたちのうんどうかいのおべんとうも、しらないところでたべるので、はいてしまいます。とつてもおなかがすいているのに、おかあさんがせっかくつくつてくれた、だいすきなたまごやきがはいつているおべんとうも、たべられません。

いっばいたべたいです。でもたべられません。イライラします。なみだがでて、とまりません。おかあさんに

「おはなししてごらん」

といわれても、いいたいことがあたまのなかをぐるぐるして、なにかはなしたらいいのかわかりません。じぶんのきもちがどこにあるのかわかりません。

がつこうのじゅぎょうのとき、みぎがわからほかのクラスのせんせいのかえがきこえます。ひだりがわから、わたしのせんせいのかえがきこえません。一ねん一くみで、どんなじゅぎょうをしていて、いま、なんのもんだいをやっていて、どういふふうにやるのか、せんせいのはなしがぜん

「いっしょにあそぼうっていつてごらん」

といいました。またいうのは、ゆうきがたくさんいります。なかよしのおともだちがふたりいたので、おもいきって

「いっしょにあそぼう」

といったら

「いいよ」

といつてくれました。うれしくておかあさんに

「あそんでくるね」

といいました。ゆうきをだしてはなしてみてもよかったですとおもいました。

わたしが、ないてなにもしゃべらなかったり、ほけんしつによくいたり、みんなとちよつとちがうから、みんなはわたしのことをへんだとおもっているかもしれない。

せんせい、わたしのちよかくかびんのこととかをクラスのみんなにせつめいしてくれました。なんでヘッドホンをするのかも、はなしてくれました。なかよしのおともだちは、なにもいいません。おともだちのおかあさんもわたしにとてもやさしいです。コロナで、さんかんびがいかいしかなかったからまだ、わたしのおかあさんも、だれがおともだちのおかあさんかわからないこともあります。

あるとき、クラスで

「そんなこともできないの」

といわれました。なきたくなりました。みんなには、かんたんにできることがわたしにはなかなかできません。なきたくなっただけ、

「わたしにはちよつとむずかしいの」

といったら、

「一ねんせいなのね」

といわれました。一ねんせいだけど、わたしはみんなよりできないことがたくさんあります。でも、みただけではわかりません。ランドセルにヘルプマークもつけているけど、ヘルプマークもいみをしらないひとがたくさんいるから、きづいてもらえません。

わたしは、がっこうにはいつてわすれものがおおくになりました。おかあさんがなんかいもとどけてくれました。ちよつとそこまでのスーパ―にでかけたとき、ヘッドホンをわすれて、バスがとまってブレイキのおとがしたり、こうじげんばのおとがするとき、おかあさんは、さつとわたしのみみをふさいでくれます。おかあさんに、ありがとうをいいます。おかあさんは

「ママは、えなのママだから、ありがとうをいわなくてもいいよ。だつてかぞくだから。でもがっこうのせんせいや、がくどうのせんせいとか、クラスのみんな、ほかのおかあさんにたすけてもらった

ときは、かならず、ありがとうをいってね」

といわれます。

おねえちゃんたちとは、いつもけんかをします。でも、わたしがじぶんのきもちをつたえるのがにがてだとわかって、ちゅうがくせいのおねえちゃんと、おかあさんが、きもちのカードをつくってくれました。おこつてるとか、かなしいとか、たくさんかおのえがあつて、ほけんしつでやすみたいです、とか、きょうしつにもどります、とかの、えもあります。おねえちゃんは、びじゅつがとくいです。ことばできもちをいえないときは、そのカードをつかつてゆびをさして、せんせいにきもちをつたえます。

ときどき、みんなどうしてわかつてくれないの、とおもつてイライラしてしまいます。でもおかあさんが

「えながつらいことは、みんなにみえないし、こっせつしたことがないひとは、こっせつのいたみもわからないから、なつたひとしかわからないの。でも、にがてなんだよってしてもらうことはできるとおもうよ」

とわたしにいいました。だから、なつやすみは、じゅうけんきゅうに

「わたしのせつめいしょ」

をつくることにしました。ことばでは、せつめいするのはにがてなので、もぞうしに、わたしのに

がてなことや、みんなよりとくいなことをかいた、せつめいしよをかくことにしました。

ちゅうがくせいのおねえちゃんも、わたしのしょうがつこのそつぎょうせいです。にばんめのおねえちゃんは、ごねんせいで、さくぶんがとくい、わたしにおしえてくれます。じどうかいのふくかいちょうで、とてもかっこいいです。わたしも、かっこいい一ねんせいになりたいです。いつもなっていたらせんせいも、おかあさんもこまります。

わたしに、ぶんしょうをかいてみたら？ といつてくれたのは、おかあさんです。ことばでつたえるのががてなら、もじで、つたえてみたらいいよ、といわれたので、じゅうちょうにおもっていることをたくさんかきました。かいたことをまとめました。

わたしのしょうがい、だれのめにもみえません。こわくても、きもちわるくてぐあいがわるくてもみえません。みんなよりできないことがあっても、それもみんなにはわかりません。わかってもらうのはたいへんです。だから、おかあさんが

「わかつてもらえなくても、しつててもらえてたら、それでいいんだよ」

といいました。にがてなことはたくさんあります。でも、みんなにしつてもらえるようにまずは、わたしが、がんばりたいです。